

特別支援学校 高等部卒業後の進路を考える

～ その後の人生を自分らしく生きるために ～

障がいがあっても
自分らしく ゆたかに生きよう。
「仲間」とともに。
「学び」とともに。



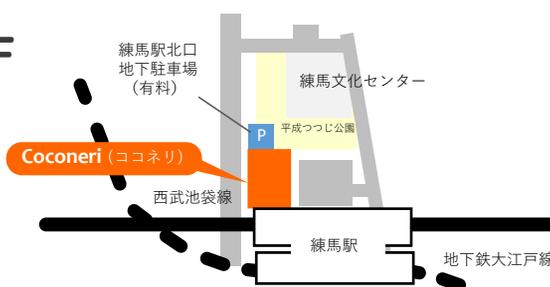
2018
7/16
(13:00開場)

月・祝

会場 **Coconeri 3F**
ココネリホール
(東京都練馬区練馬1-17-1)

参加無料

定員100名
(申込先着順)



西武池袋線・都営大江戸線 練馬駅より徒歩1分

講演 & パネルディスカッション



福祉型専攻科シャンティつくば
学校長 **船橋 秀彦 氏**

パネラーのみなさんとともに
「学び」について考えよう

発達障がい者と知的障がい者の進路を考える
～ 『学び』という第3の選択肢 ～

- 現役高等部生の保護者
- シャンティつくばの保護者
- 社会人(就労継続B通所)の保護者
- 学びの場を経験した障がい当事者



主催： NPO法人 障がい児・者の学びを保障する会



わたしたちは学びの機会づくりを通して障がいがあっても自分らしくゆたかに生きていく人たちを応援します。

高等部卒業後の進路を考える

～その後の人生を自分らしく生きるために～

タイムテーブル

● 13:30～

イントロダクション

気になる!!

パネル展示 同時開催!!

働くために企業が求めるチカラとは? ◇特例子会社へのアンケート調査◇

高等部卒業後も学ぶ機会は必要? ◇保護者へのアンケート調査◇

● 13:50～

講演



福祉型専攻科シャントイツくば 学校長 船橋 秀彦 氏

発達障がい者と知的障がい者の進路を考える

～『学び』という第3の選択肢～

～プロフィール～

特別支援学校の教員生活を38年間務め、退職した後、発達障がい者と知的障がい者の20歳前後の教育の可能性を信じ、本人と親の願いに応えた福祉型専攻科を立ち上げ(2016年4月)、青年期教育の実践を進めています。

～著書～

「特別支援学校高等部における教育とその課題ー青年期教育の視点から」

(『SNEジャーナル』第21巻第1号、2015年)、

「障がい青年の専攻科設置・『学びの作業所』作り運動の意義と課題」

(『障害児の教育権保障と教育実践の課題』2014年12月) など

～メッセージ～

高等部・高校卒業後も、「もっとゆっくり学びたい」「友だちといろいろなことをして楽しみたい」など、障がい青年の思いに応えた福祉事業の自立訓練(生活訓練)を使った福祉型専攻科の取り組みが全国に広がりつつあります。

今年(2018年)4月には、福島県の郡山に「福祉型専攻科カレッジ郡山」がオープンしました。新潟にも長野にも栃木にも広がっています。

この福祉型専攻科について多くの方に知っていただき、障がい者の青年期を輝かすことの大切さを、知っていただけたらと思っています。

14:50～15:00

休憩

● 15:00～

パネルディスカッション

学ぶことで何が変わるのかなど、疑問に思うことをお話したいです。

高等部卒業後、息子が「学ぶ」という進路を選択した理由をお話します。

社会人になった息子を支援しながら、卒業した当手を振り返っていま考えることをお話します。

わたしは学びの場で、いろいろなことを学びました。自分がどのように変わったのかをお話したいです。

～16:30

現役高等部生の保護者

シャントイツくばの保護者

社会人(就労継続B通所)の保護者

学びの場を経験した障がい当事者

[お申込み・お問合せ先]

メール

hello@npo-manabinokai.com

※件名を講演申込とし、本文にお名前と参加人数を入力して送信してください。

お電話

080-3529-6343 (代表:大森)

ホームページ

<https://www.npo-manabinokai.com>



お申込みサイト

QRコード



※イベント管理サイト「こくチーズ」につながります。

主催: NPO法人 障がい児・者の学びを保障する会

わたしたちは学びの機会づくりを通して障がいがあっても自分らしくゆたかに生きていく人たちに応援します。